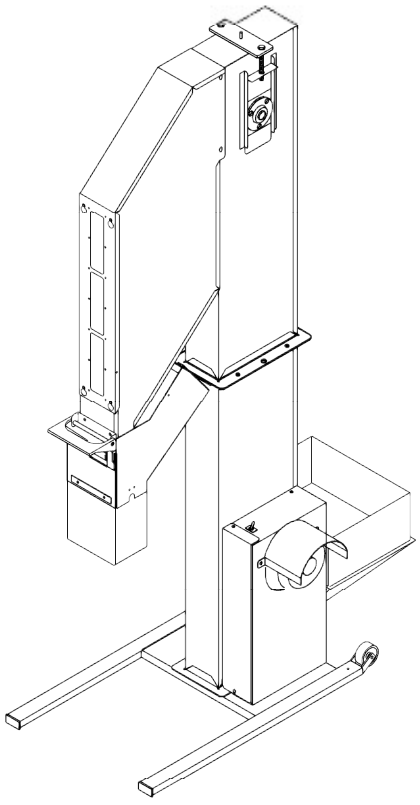
取扱説明書

IRINO

リトルストッカー

LSA12C
LSKA12C



正しく安全に効率良い作業をしていただくために、ぜひ心掛けていただきたいことを述べていますので、ご使用前に必ずお読みください。誤った使い方をすると、事故を引き起こすおそれがあります。
お読みになった後は必ず製品に近接して保存してください。

LSKA12C-G（自動ホッパー部）
LSA12C-S（手動ホッパー部）
-27E920B

L

「リトルストッカー」をお買い上げいただき ありがとうございます。

はじめに

○この取扱説明書は「リトルストッカー」の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。**ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまで**お読みの上、正しくお取扱いただき、最良の状態でご使用ください。

○お読みになった後も **必ず製品に近接して保存** してください。

○製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。

○この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げいただいた販売店にご注文してください。

○なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を予告無く行うことがあります。その際には、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

○ご不明なことやお気づきのことがございましたら、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

○⚠印付きの下記マークは、安全上、特に重要な項目です。必ずお守りください。

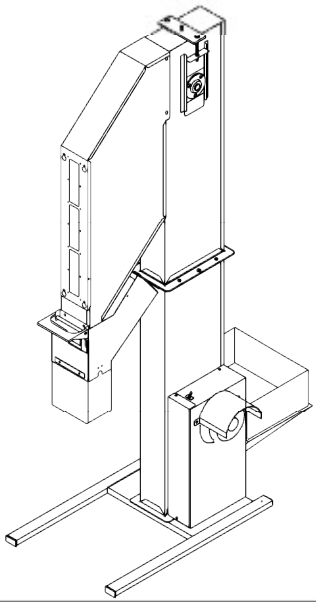
⚠ 危険	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	その警告文に従わなかった場合、ケガを負うおそれがあるものを示します。

○この取扱説明書には安全に作業していただくために、安全上のポイント**「安全に作業をするために」** を記載してあります。
使用前に必ずお読みください。

-27E921A

もくじ

はじめに	1
もくじ	2
安全に作業をするために	3
サービスと保証について	4
仕様	5
本製品の使用目的について	6
各部の名前	6
安全銘板の貼り付け位置	7
お使いになる前に	
１）部品名及び明細	8
２）組立	９～１３
作業のしかた	
１）使用例	１４
２）使用方法	１４
３）計量のしかた	１５
落差修正方法	１６
作業後のお手入れについて	１７
点検・調整について	１８
不調診断	１９～２０



安全に作業をするために

ここに記載されている注意事項を守らないと、

死亡を含む傷害や事故、機械の破損が生じるおそれがあります。

●一般的な注意項目

警告

●疲労、病気、薬物の影響、その他の理由により、
作業に集中できない。

●お酒を飲んだとき

●妊娠しているとき

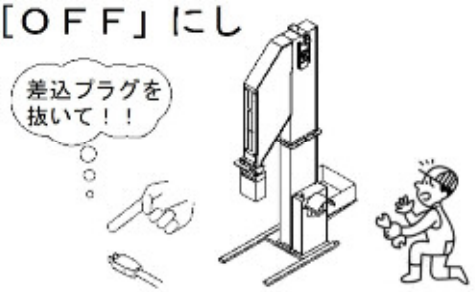
●１８才未満の人

「守らないと」

思わぬ事故の原因になります。

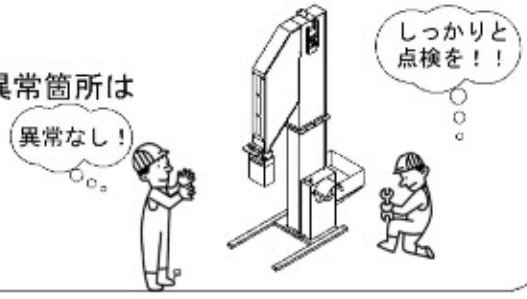
警告 点検・整備には必ず電源を［ＯＦＦ」にし差し込みプラグを抜く

点検・整備は、必ず電源を「ＯＦＦ」にし
差し込みプラグを抜いてから行ってください。



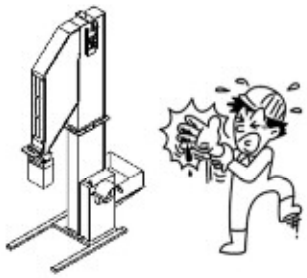
注意 必ず作業前の点検をする

本機を使用する前に必ず作業前の点検を行い、異常箇所は
直ちに整備してから作業を始めてください。
また、作業終了時も点検を行って異常がないか
チェックしてください。



注意 カバー類は必ず取り付ける

点検・整備などで外したアングル、カバーなどは
必ず取り付けてください。
「取り付けないと」
倒壊や傷害事故を招く恐れがあります。



サービスと保証について

保証書について

「保証書」はお客さまが保証修理を受けられる際に必要となるものです。
お読みになった後は大切に保管してください。

アフターサービスについて

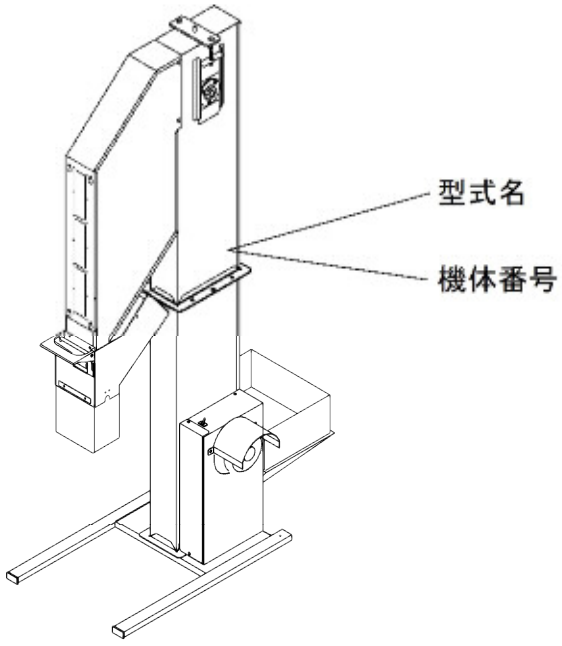
機械の調子が悪いときは１９～２０ページの「不調診断」に従って点検、処置しなお不具合があるときには、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた販売店までご連絡してください。

＜連絡していただきたい内容＞

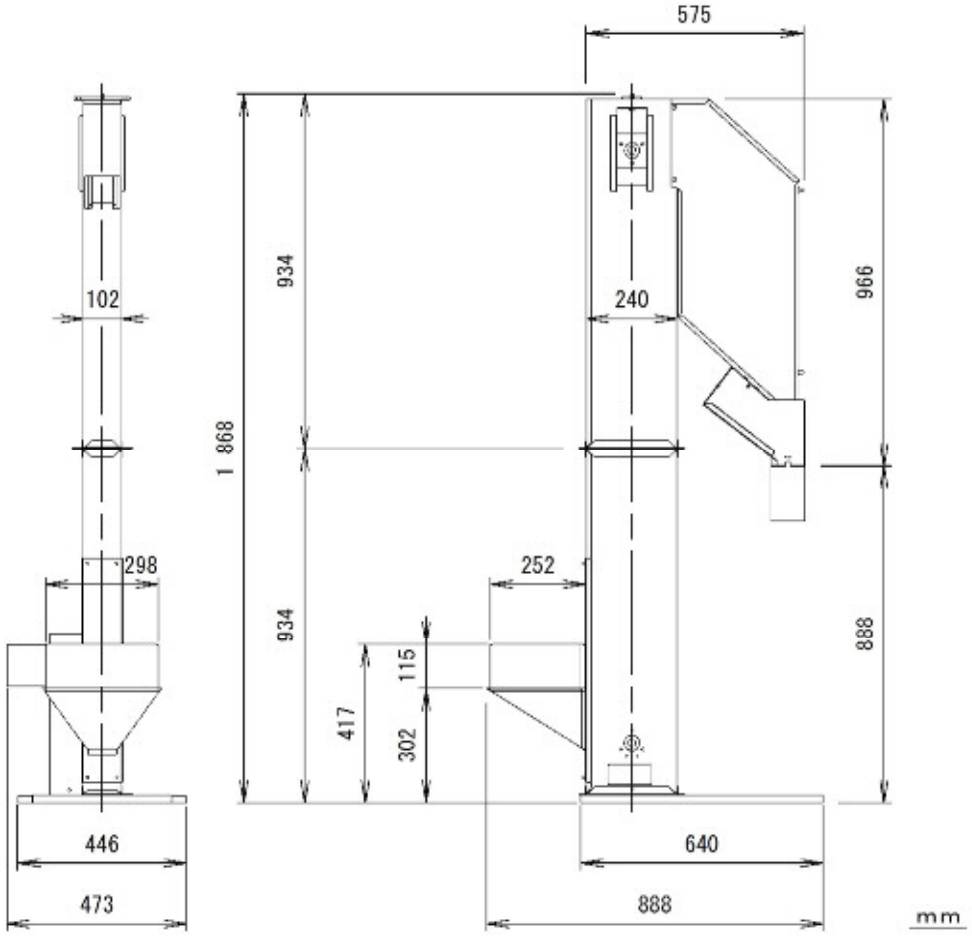
○型式名と製造番号
○ご使用状況は？
○どのくらい使用されましたか？
　（約□□時間使用後）
○不具合が発生したときの状況を
　できるだけ詳しく教えてください。

補修部品の供給年限について

この製品の補修部品の供給年限（期間）は製造打切後８年です。
ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。
補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても部品供給の要請があった場合には納期および価格についてご相談させていただきます。



仕様



型式		LSKA12C(秤付自動計量仕様)	LSA12C(手動シャッター仕様)
機体寸法		全長：888mm　全幅：473mm　高さ1,868mm	
機体重量		42kg(秤関連除く)	41kg
昇降	モーター	単相100V/200W(コンデンサー付き)	
	プーリー	モーター：A-2インチ（軸φ14）　従動：A-8インチ（軸φ17）	
	Vベルト	A-32	
	バケット	幅75mm(3インチ)	
	搬送ベルト	幅105mm	
	搬送能力	1,800～2,000kg/h(玄米)	
計量	最大処理能力	30俵/時	
	計量範囲	2～35kg	
	計量精度	±20g	
	使用電源	単相100V	

本製品の使用目的について

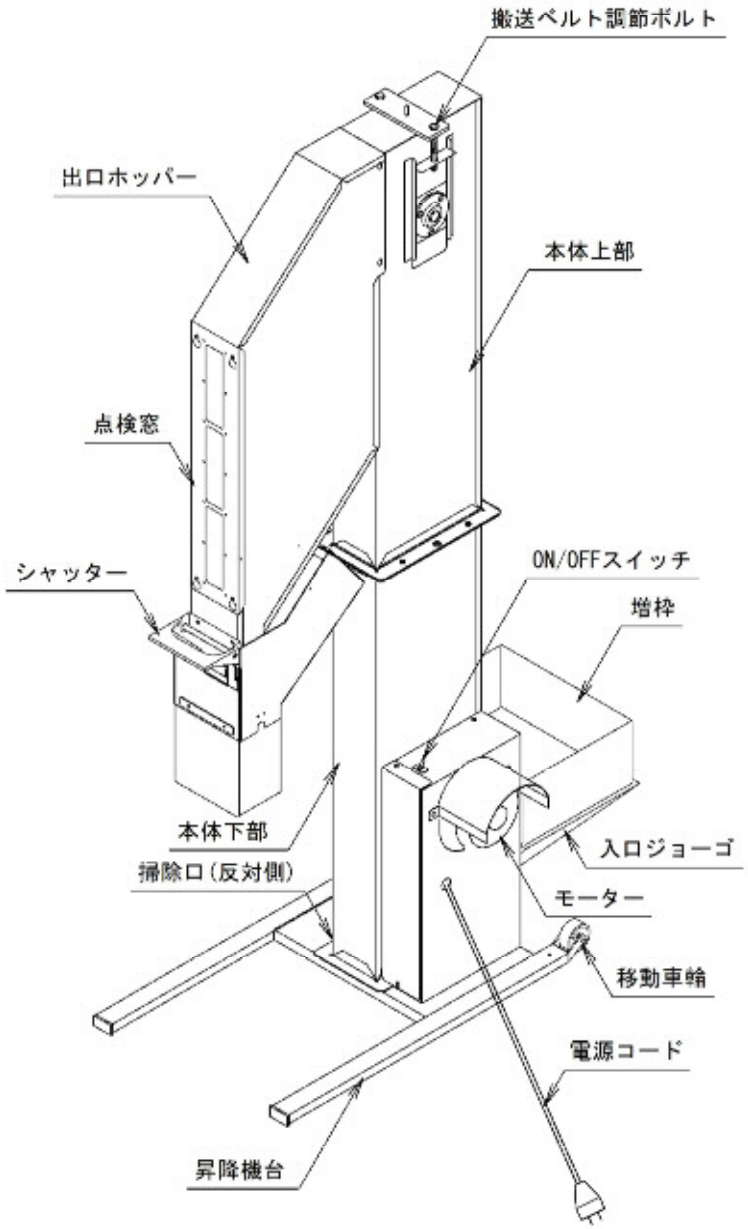
本製品は玄米、麦の搬送・計量用としてご使用ください。

使用目的以外の作業や改造などは決してしないでください。

使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。

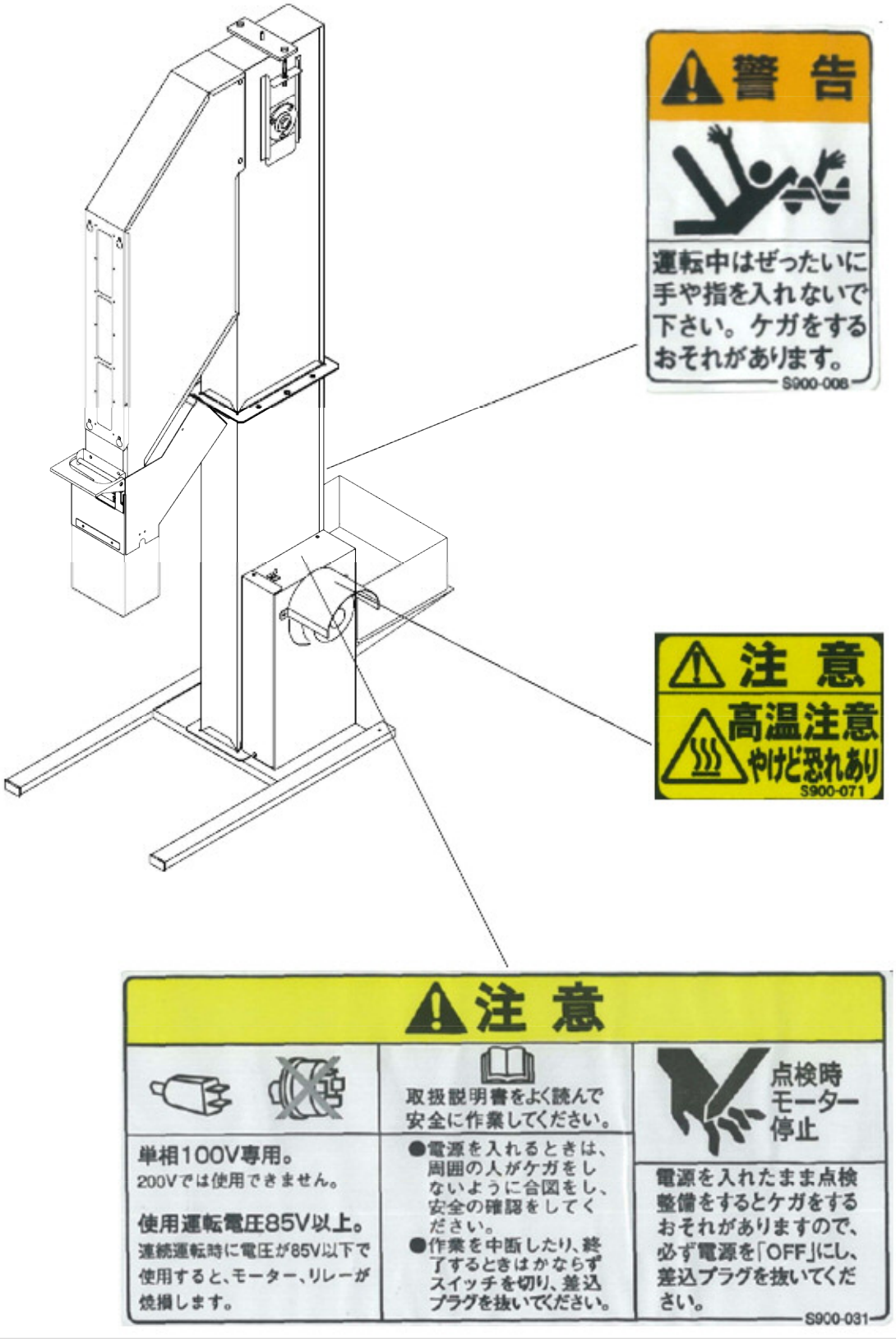
（詳細は、保証書をご覧ください。）

各部の名前



安全銘板の貼り付け位置

安全に作業していただくために安全銘板の位置を示したものです。安全銘板は常に汚れや破損のないように保ち、もし破損・紛失した場合は、新しいものに貼り直してください。

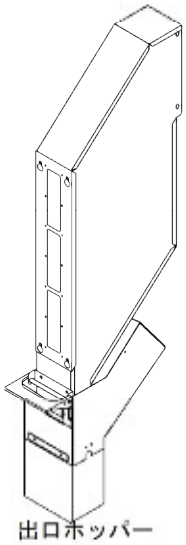


お使いになる前に

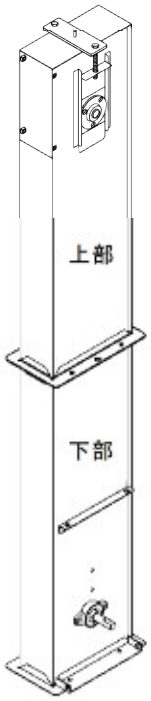
（1）部品名及び明細

＊リトルストッカーの梱包内容を確認してください。梱包は本体部、モーター部、ジョーゴ部
出口ホッパー部に分かれます(仕様により梱包内容が異なります)。
オプション部品に関しては別途同梱されている取扱説明書を参照してください。

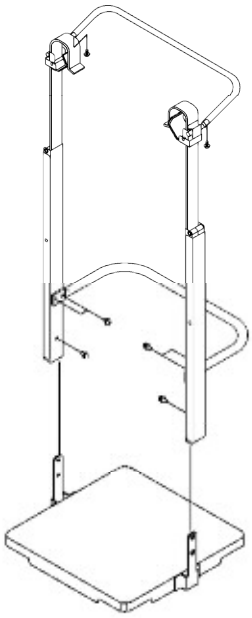
出口ホッパー部



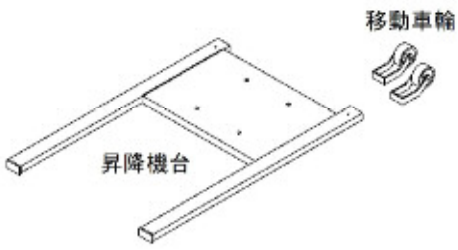
本体部

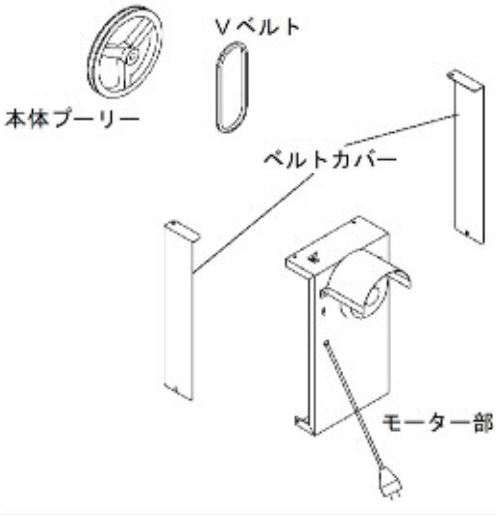


袋ホルダー(秤付自動計量仕様)

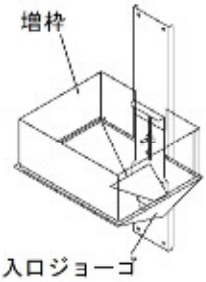


モーター部

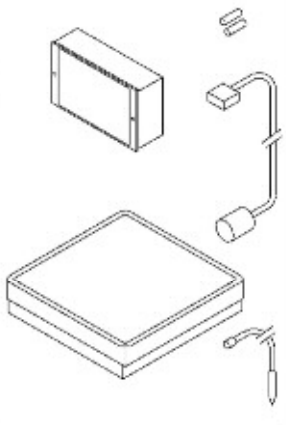




ジョーゴ部



自動計量秤(秤付自動計量仕様)



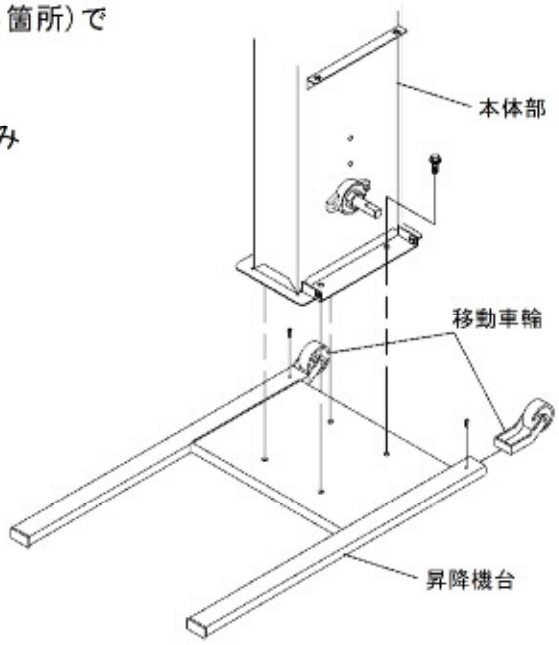
お使いになる前に

⚠ 注意　リトルストッカーを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して落下、転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

（２）組立 昇降機台、移動車輪

１）昇降機台の上に本体部を載せてボルト（４箇所）で固定してください。

２）昇降機台後方パイプに移動車輪を差し込みナベ小ネジで固定してください。

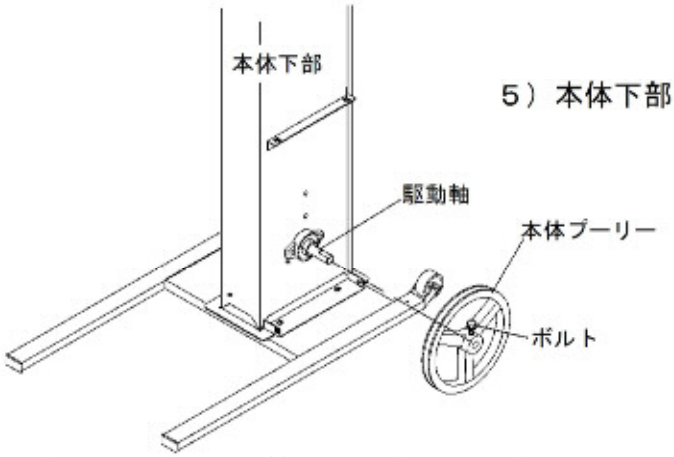


お使いになる前に

⚠ 注意　リトルストッカーを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して落下、転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

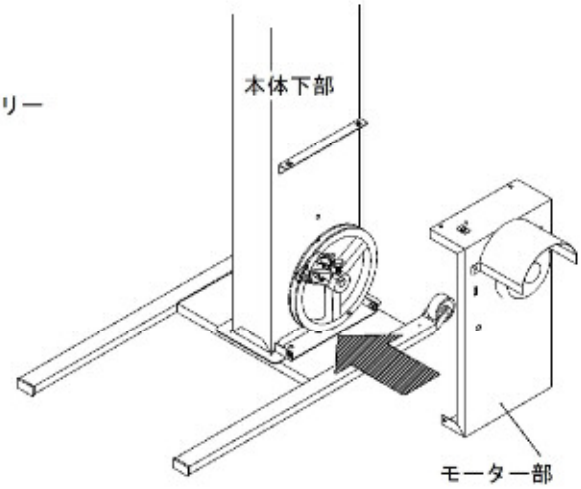
（２）組立

４）本体下部の駆動軸に本体プーリを取り付けてください。

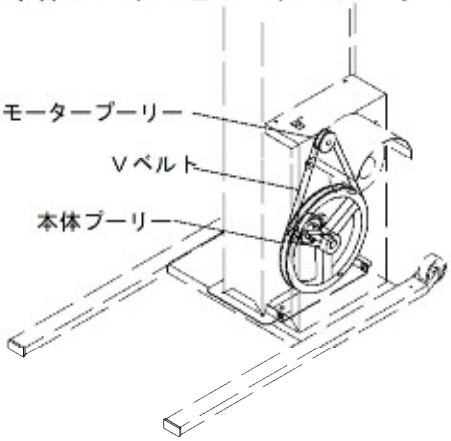


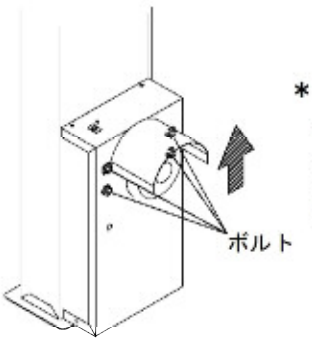
＊駆動軸の平面部分にボルト先が当たるようにボルトを締めこんでください。

５）本体下部にモーター部をはめ込んでください。



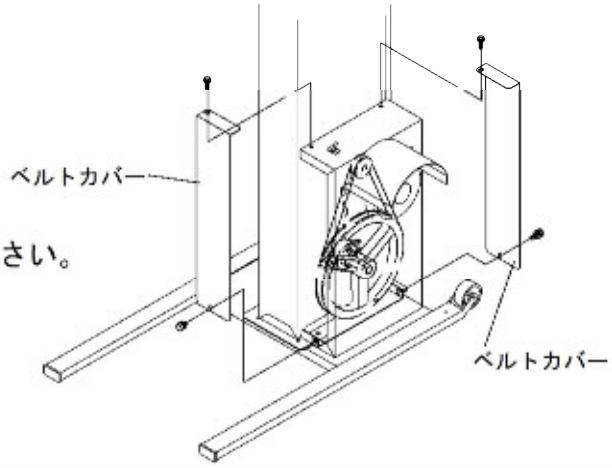
６）本体プーリーとモータープーリーにＶベルトを掛けてください。





＊Ｖベルトを張る場合はボルト（４箇所）を緩めてモーターを上方向へ動かしてください。

７）モーター部にベルトカバーを取り付けてください。



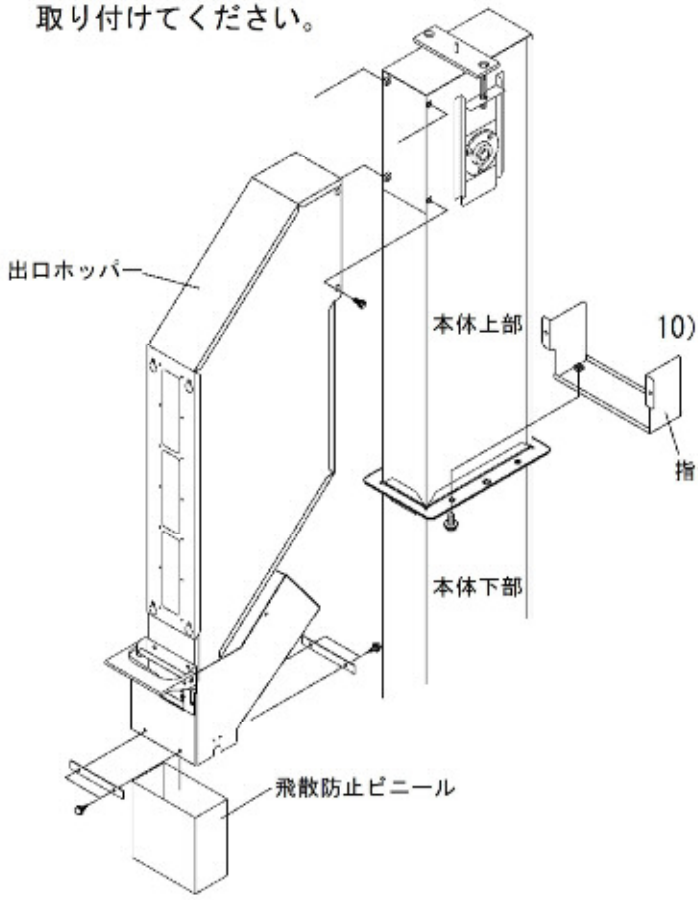
お使いになる前に

⚠ 注意　リトルストッカーを組み立てる時は平坦な場所で十分に足場を確保して落下、転倒等の事故防止処置をした上で作業してください。

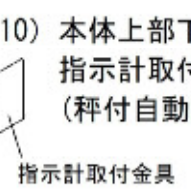
（２）組立

8）本体上部の出口部に出口ホッパーを
取り付けてください。

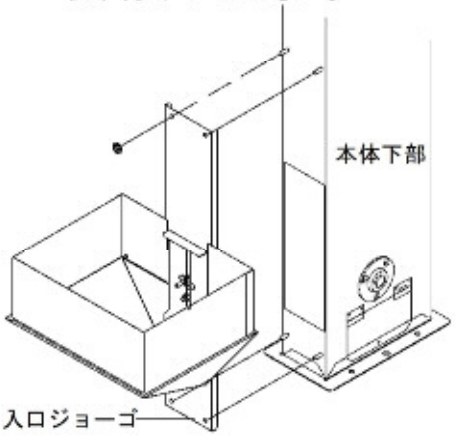
9）出口ホッパーに飛散防止ビニールを
取り付けてください。



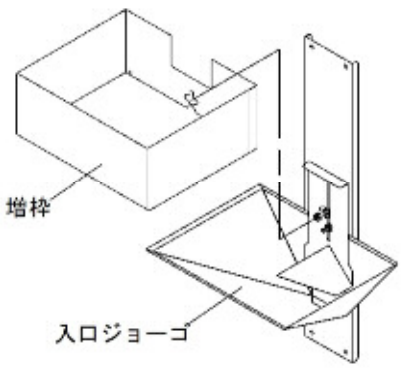
10）本体上部下部の接続ボルトを使用して
指示計取付金具を取り付けてください。
（秤付自動計量仕様）



11）本体下部に入口ジョーゴを
取り付けてください。



＊）入口ジョーゴの増枠は取り外し可能です。
接続する機器に応じて使用してください。



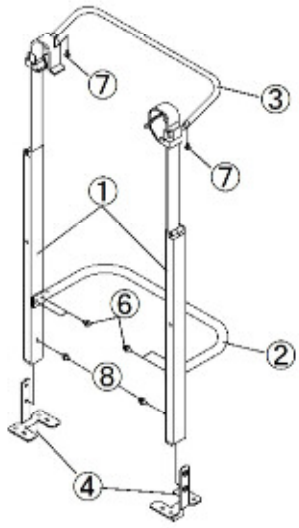
お使いになる前に

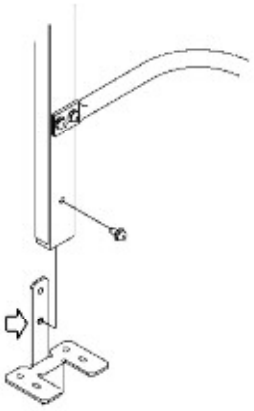
（２）組立 ＊秤付自動計量仕様のみ

１）①ポスト左右と②ポストガイドを⑥Ｍ５×１５丸ビスで
取り付けてください（取付向き注意）。

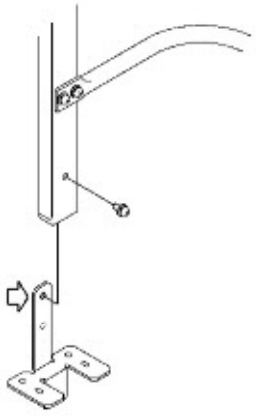
２）③開放パイプを開放レバーに差込み⑦Ｍ５×８丸ビスで
締め付けてください。

３）①ポスト下部へ④固定金具（上）を差込み
⑧Ｍ６×１４丸ビスで固定してください（取付向き位置注意）。



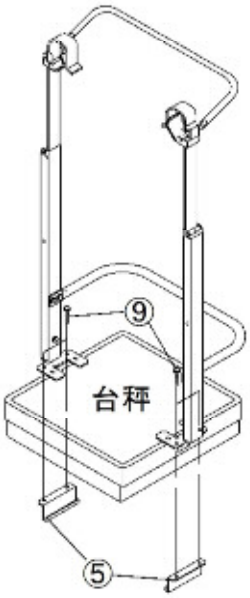


袋ホルダーのみの場合

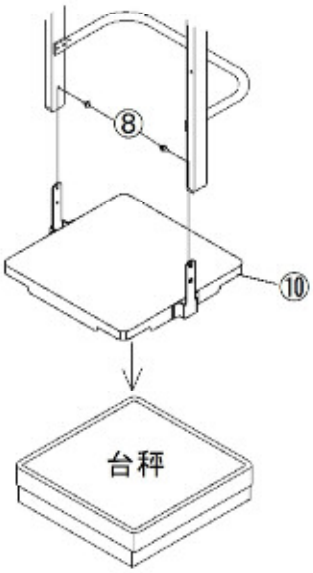


秤ローラーを使用する場合

４）上記で組み合わせたものを台秤中央部に載せ
⑤固定金具（下）と⑨Ｍ６×３０丸ビスで固定してください。



５）ベース仕様の場合は下記図を参照にして組立をしてください。



NO	名称	個数	NO	名称	個数
①	ポスト（左、右）	各１	⑥	Ｍ５×１５丸ビス	4
②	ポストガイド	1	⑦	Ｍ５×８丸ビス	2
③	開放パイプ	1	⑧	Ｍ６×１４丸ビス	2
④	固定金具（上）	2	⑨	Ｍ６×３０丸ビス	4
⑤	固定金具（下）	2	⑩	ベース	1

お使いになる前に

（２）組立 ＊秤付自動計量仕様のみ

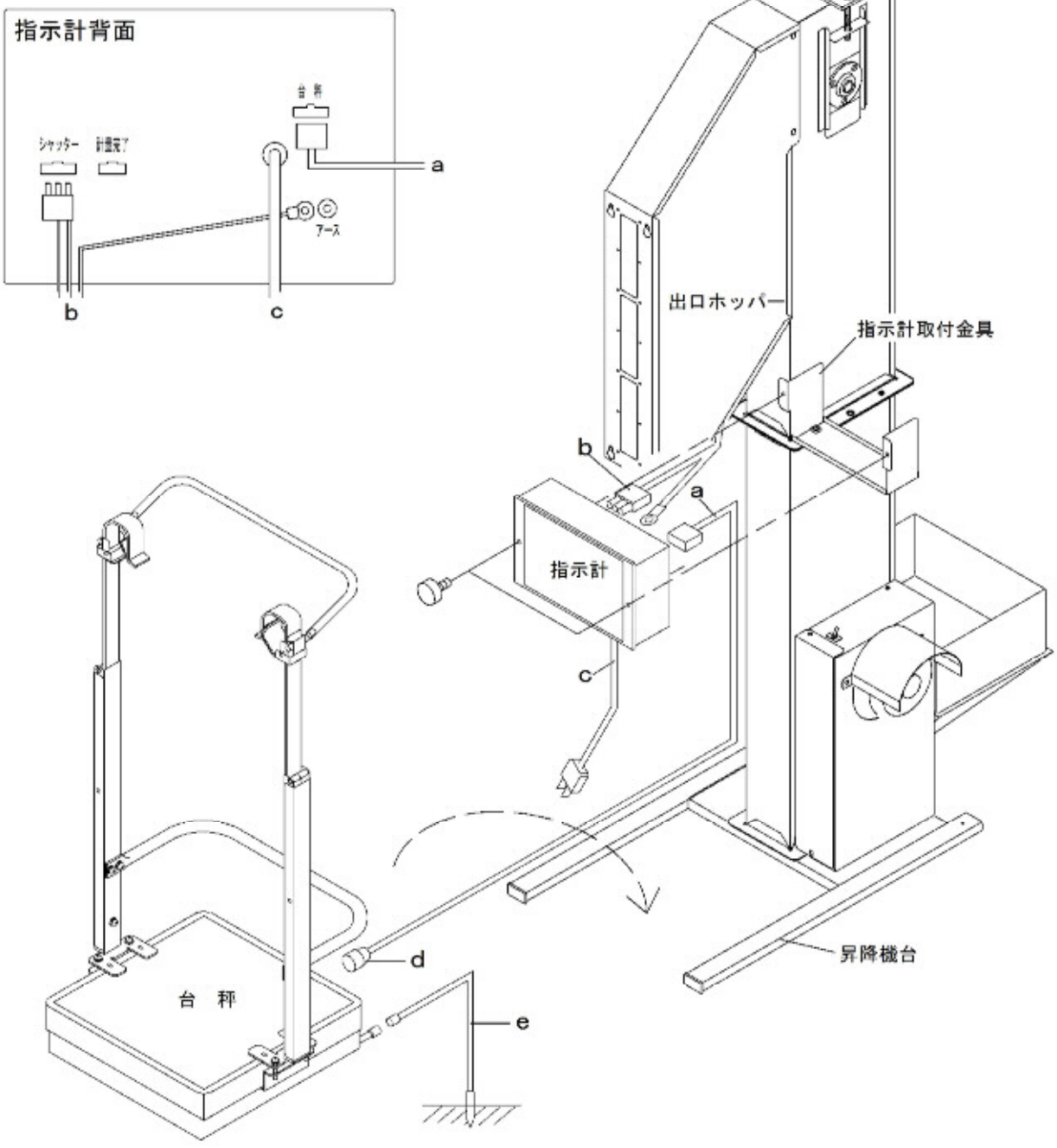
１、指示計の各種配線をしてください。

ａ，ロードセルケーブルと指示計を接続してください。

ｂ，出口ホッパーのシャッター線、アース線を指示計に接続してください。

ｃ，指示計の100V電源ケーブルに電源を供給してください。

２、指示計取付金具に指示計を取り付けてください。



３、昇降機台の間に台秤を置いてください。

４、台秤の各種配線をしてください。

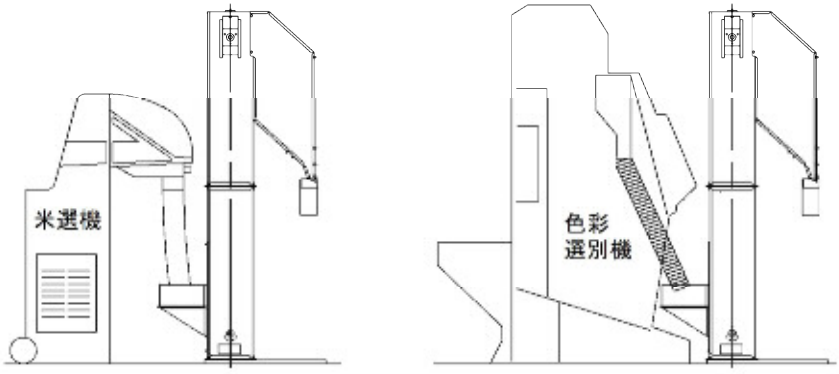
ｄ，台秤とロードセルケーブルを接続してください。

ｅ，台秤とアース線を接続してください。

作業のしかた

1）使用例

●米選機や色彩選別機に接続して使用してください。
他の作業機と接続することにより幅広い作業を可能とします。



⚠ 警告　電源を入れるときは、周囲の人が怪我をしないように合図し安全を確認してから実施してください。

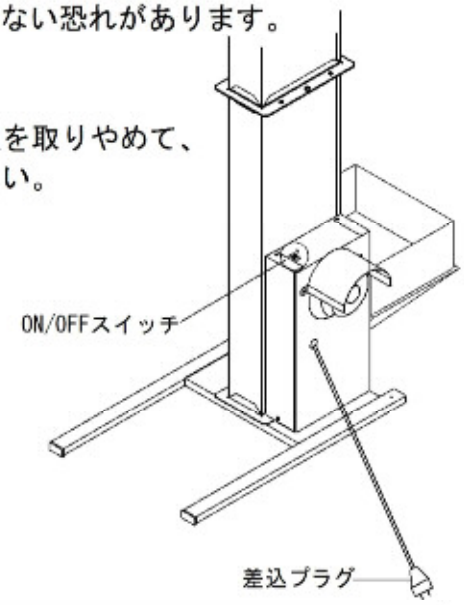
2）使用方法

1)差込プラグをコンセントに差し込む。
＊コンセントに差込む前に昇降機内部や出口・入口に搬送物等で詰まりが無いことやＯＮ／ＯＦＦスイッチの「ＯＦＦ」の状態か確認してください。

2)ＯＮ／ＯＦＦスイッチを「ＯＮ」にする。
＊他の機械の中間に昇降機を設置しているときは、最終工程の機械から順番に起動させないと詰まり等の原因により起動できない恐れがあります。

3）運転

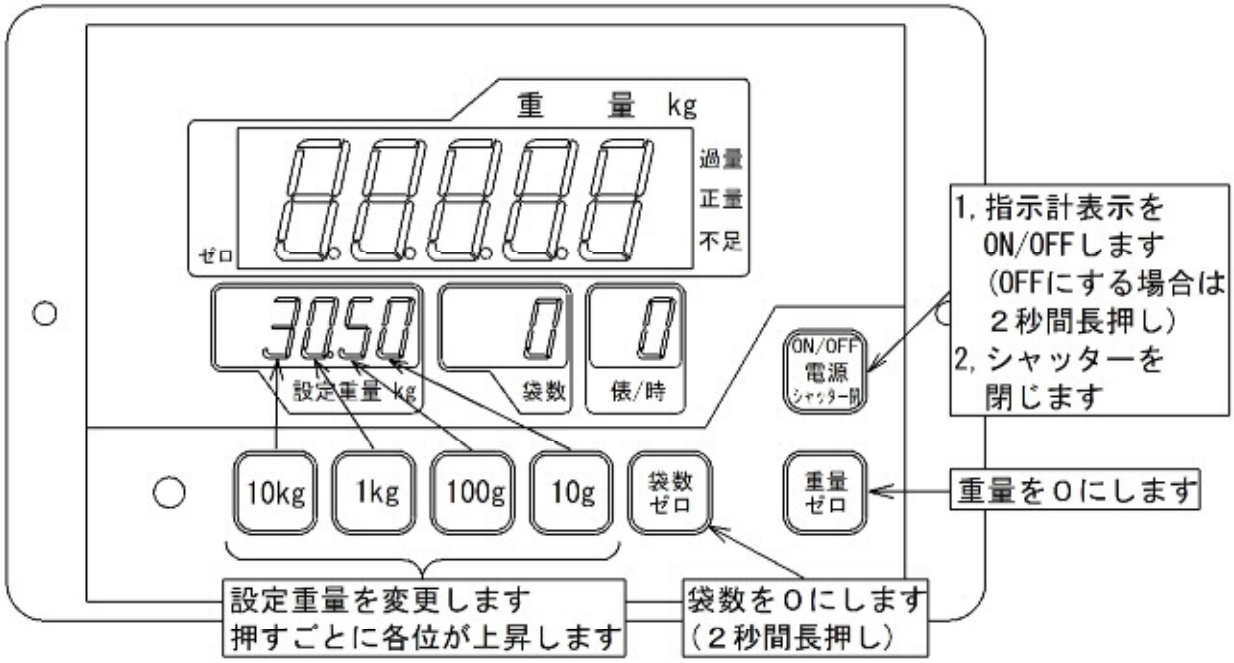
異音や振動が無く、スムースな回転を確認し連続運転に入ります。もし、異音や振動が発生する場合は直ちに運転を取りやめて、異音や振動の原因を取り除いてから運転を再開してください。



⚠ 注意　長いコードを使用すると電圧降下が発生しモーターの過負荷や誤動作の原因となります。やむをえずコードリールを使用するときは、コードを巻いたままにしないで全部伸ばして使用してください。

作業のしかた

指示計詳細



３）計量の仕方（袋ホルダーを使用の場合）

①[ON/OFF 電源 シャッター開]キーを押して指示計を表示させます。

②重量表示が「０」になっているのを確認して袋ホルダーに米袋をセットしてください。

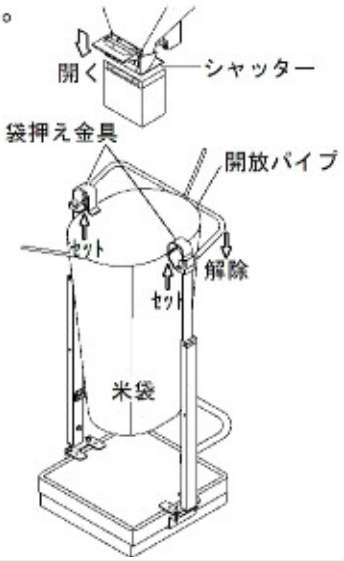
→０でない場合は[重量ゼロ]キーを押して重量表示を０にして米袋をセットしてください。

③シャッターを開くと計量が開始します。

④設定重量の１kg手前で１段目シャッターが作動、さらに設定重量でシャッターが閉じ計量が完了します。

ブザー
- 正量 — — — — — — ピッピッピッ（断続音）
- 過量、不足 ———— ピーーーーー（連続音）

⑤袋ホルダーから米袋を外し、台秤から米袋を降ろしてください。



ブザー音量変更方法

①指示計表示がＯＦＦの状態で

②[1kg]キーを長押し→重量表示に　ｂｕ　と表示される

③設定重量に表示される１、２、３を[1kg]キーで切り換える

④設定終了後[ON/OFF 電源 シャッター開]キーを長押し→電源がＯＦＦになり設定完了

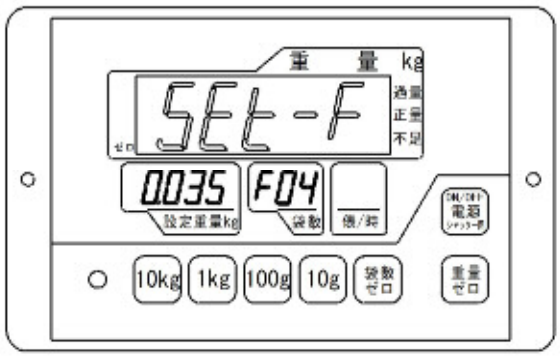
１：小
２：中
３：大

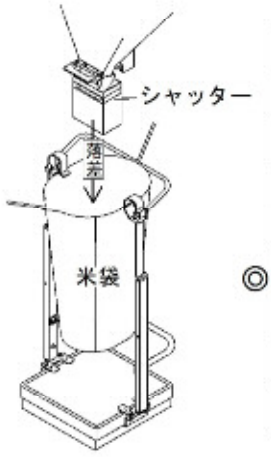
落差修正方法

ＮＳ３５Ｋ

シャッターと米袋の間の落差が影響して
設定重量通りに米が計量できない場合は
落差の値を修正してください。

Ｆ０４　落差設定　初期値　０．０３５





参考初期値		
項目	内容	初期設定
F01	定量前	1.0
F02	過量	0.08
F03	不足	0.02
◎F04	落差	0.035
F05	自動計量	0
F06	ゼロ付近	1.00
F07	ON/OFFｿﾚﾉｲﾄﾞ	1

例：設定重量を３０．６０kgにしているのに
　　計量終了後の重量が３０．５８kgの場合
　　２０g（０．０２０kg）少ない場合・・・落差を０．０２０減らす

①指示計表示がＯＦＦの状態で

②[10kg]キーを長押し→重量表示に　ＳＥｔ－Ｆ　と表示される

③[袋数ゼロ]キーを押し袋数表示を　Ｆ０４　に変更する

④[10kg][1kg][100g][10g] キーを使用して設定重量表示を　０．０３５→０．０１５　に変更する

⑤設定終了後[ON/OFF 電源 シャッター開]キーを長押し→電源がＯＦＦになり設定完了

例：設定重量を３０．６０kgにしているのに
　　計量終了後の重量が３０．６２kgの場合
　　２０g（０．０２０kg）多い場合・・・落差を０．０２０増やす

①指示計表示がＯＦＦの状態で

②[10kg]キーを長押し→重量表示に　ＳＥｔ－Ｆ　と表示される

③[袋数ゼロ]キーを押し袋数表示を　Ｆ０４　に変更する

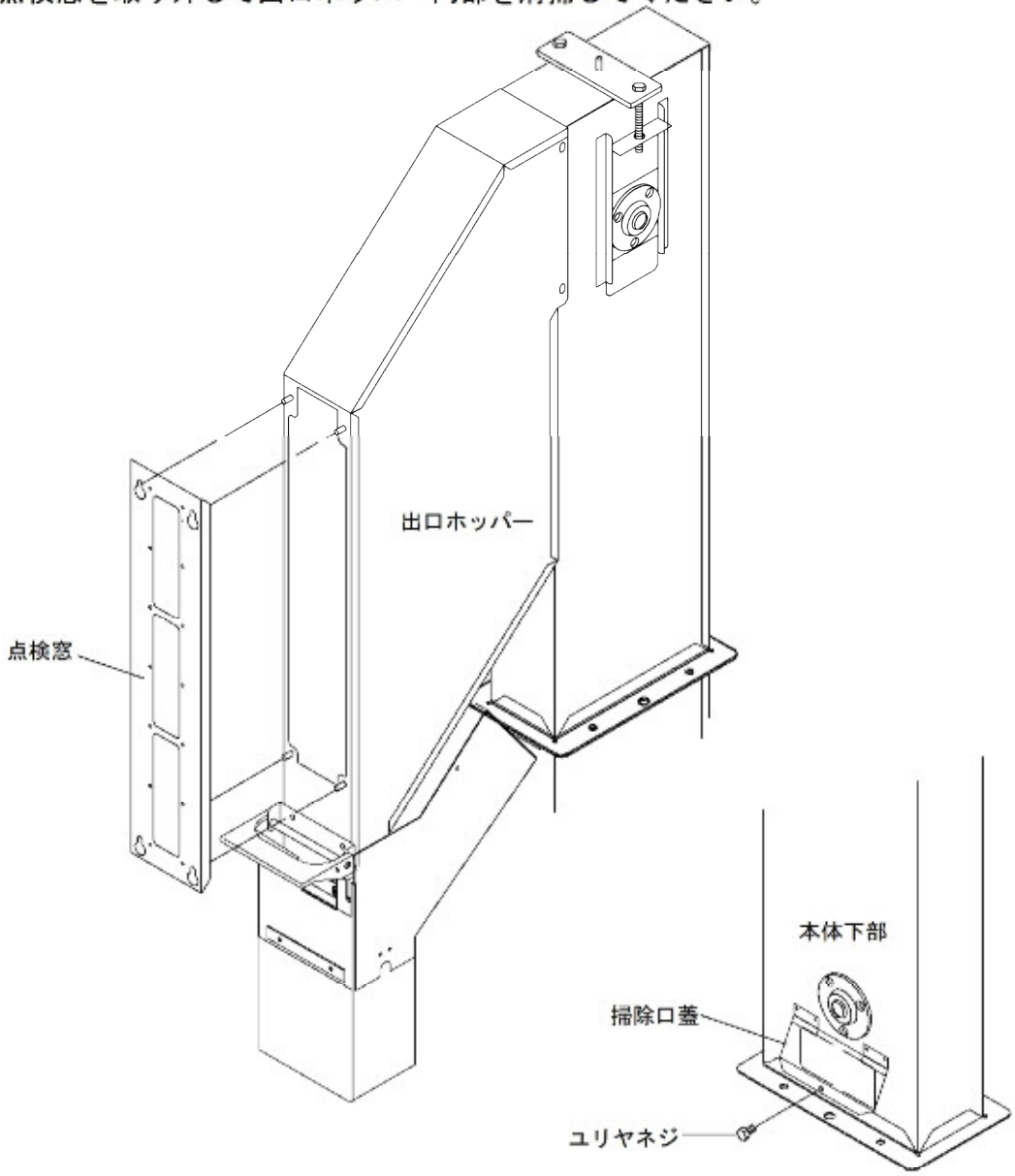
④[10kg][1kg][100g][10g] キーを使用して設定重量表示を　０．０３５→０．０５５　に変更する

⑤設定終了後[ON/OFF 電源 シャッター開]キーを長押し→電源がＯＦＦになり設定完了

作業後のお手入れについて

1）残留物の排出方法

a)点検窓を取り外して出口ホッパー内部を清掃してください。



b)本体下部の下側にある掃除口蓋を開けて残留米を掻き出してください。

⚠警告　残留米を取り出すときは、必ずＯＮ／ＯＦＦスイッチを「ＯＦＦ」にし
差込プラグをコンセントから抜きベルトが完全に止まってから行ってください。
もし、ベルトが動いている時に作業を行うと怪我をするおそれがあります。

2）長時間使用しない場合のお手入れ

長時間使用しない場合は、次の要領で格納してください。

a)差込プラグをコンセントから抜いてください。

b)各部に付着したホコリを取り除いてください。

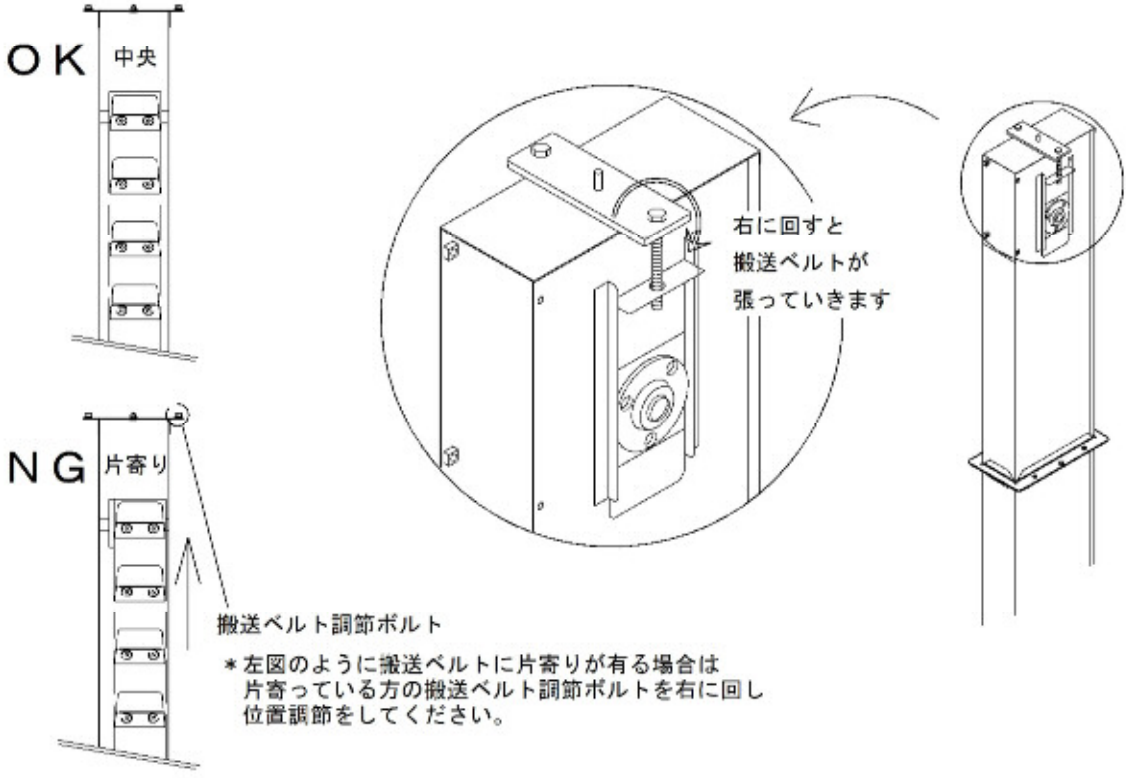
c)ネズミ侵入防止のため、入口ジョーゴを厚手のビニールで覆ってください。

d)ネズミ侵入防止のため、出口ホッパーを厚手のビニールで覆ってください。

点検・調整について

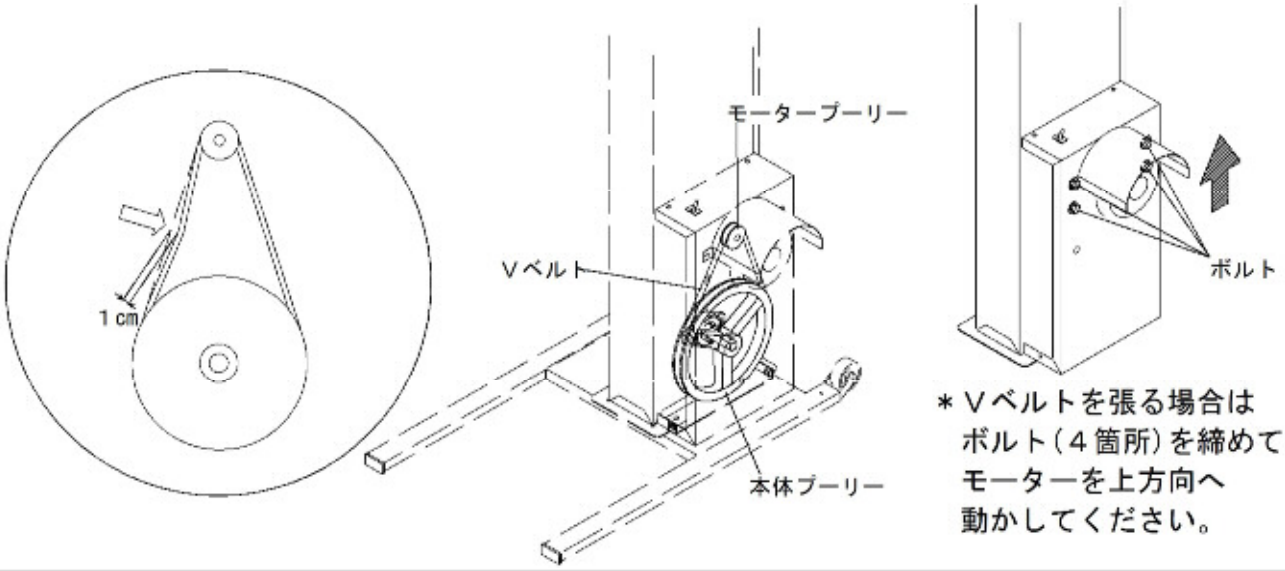
⚠ 警告　点検や調節は必ずＯＮ／ＯＦＦスイッチを「ＯＦＦ」にして差込プラグを
コンセントから抜き、ベルトが完全に止まってから行ってください。
もしベルトが動いている時に作業を行うと怪我をする恐れがあります。

１）搬送ベルトの調節
本体上部にある搬送ベルト調節ボルトをまわして搬送ベルトを張ってください。



＊左図のように搬送ベルトに片寄りが有る場合は
片寄っている方の搬送ベルト調節ボルトを右に回し
位置調節をしてください。

２）駆動Ｖベルトの調節
本体下部に本体プーリーを取り付けＶベルトを本体プーリーとモータープーリーに
掛けてください。Ｖベルト中間点を指で押さえてタワミが約１ｃｍになるように
モーターを移動させてＶベルトを張ってください。



＊Ｖベルトを張る場合は
ボルト（４箇所）を締めて
モーターを上方向へ
動かしてください。

不調診断

搬 送 部 分

状　　況	点 検 箇 所 ・ 事 項	処　　置
モーターが回らない （搬送ベルトが回転しない）	1）差込みソケットが確実に入っていない 2）端子部の締め付けが緩んでいる 3）断線している 4）スイッチの不良	1）差込みソケットを差し込んでください 2）端子部を締め付け直してください 3）断線を修理してください 4）スイッチを交換してください
モーターの負荷電流値が高い	1）投入量が多い 2）軸受部やモーターの損傷	1）投入量を能力内になるよう流量調節板で調節してください 2）軸受部やモーターを交換してください
モーターが再起動しない	1）搬送部内に搬送物が詰まっている 2）差込みソケットが確実に入っていない 3）端子部の締め付けが緩んでいる 4）断線している 5）スイッチの不良	1）搬送部内の搬送物を全て取り出してください 2）差込みソケットを差し込んでください 3）端子部を締め付け直してください 4）断線を修理してください 5）スイッチを交換してください
搬送能力が低い	1）投入量が少ない 2）搬送ベルトがスリップしている 3）Ｖベルトがスリップしている 4）搬送バケットが磨耗している	1）供給量を増やしてください 2）搬送ベルトの張りを調節してください 3）Ｖベルトの張りを調節してください 4）搬送バケットを交換してください
搬送物が投入口より入っていかない	1）搬送ベルトがスリップしている 2）Ｖベルトがスリップしている 3）モーターの回転方向が、搬送方向に合っていない 4）搬送能力以上の搬送物が供給されている 5）搬送部分が詰まっている	1）搬送ベルトの張りを調節してください 2）Ｖベルトの張りを調節してください 3）モーターの回転方向を訂正してください 4）供給量を減らしてください 5）搬送部分の詰まりを解消してください
搬送ベルトがスリップする	1）搬送ベルトの張り調節不足 2）搬送部内に搬送物が詰まっている 3）搬送ベルトが片寄りし搬送部内の内側に接触している	1）搬送ベルトの張りを調節してください 2）搬送部内の搬送物を全て取り出してください 3）搬送ベルトの片寄りを直してください
搬送部内で異常音がする	1）搬送ベルトが片寄りし搬送部内の内側に接触している	1）搬送ベルトが中央で回転するようにベルト調節金具で調節してください
搬送バケットが底板に当る	1）搬送ベルトが伸びている	1）搬送ベルトを短くしてください
搬送ベルトが片寄りする	1）搬送ベルトの張り調節が左右でずれている	1）搬送ベルトが中央で回転するようにベルト調節金具で調節してください
異物が排出される	1）搬送部内の隅や搬送ベルトに付着した固形物がはがれている	1）付着を確認後ヘラ等で固形物を取り除いてください

不調診断

シャッター・計量部分

状　況	点検箇所・事項	処　置
シャッターが閉まらない	1)シャッターから出ているコネクタが抜けている	1)コネクタを確実に差し込んでください
	2)ソレノイド、台秤、指示計が故障している	2)販売店へご相談してください
ソレノイドで異常音がする	ソレノイド吸着面にゴミが入っていたりサビている	ゴミやサビを取り除いてください
計量誤差がある	1)台秤が振動している	1)振動の原因を取り除いてください
	2)アースが取れていない	2)指示計、台秤のアースを取ってください
	3)シャッターが正常に作動していない	3)販売店へご相談してください
重量表示が「０」にならない	1)ゼロ点がずれている	1)「重量ゼロ」キーを押して重量を「０」にしてください
	2)台秤上に米がこぼれている	2)台秤上の米を取り除いてください
「袋数ゼロ」キーを押しても「０」表示しない		「袋数ゼロ」キーを２秒間長押しすると「０」表示します
「電源」キーを押しても電源がＯＮにならない	１００Ｖ電源が供給されていない	電源コードを確実に差し込んでください
「電源」キーを押しても電源がＯＦＦにならない		「電源」キーを２秒間長押しすると電源がＯＦＦになります
「ＦＦＦＦＦ」と表示する	ひょう量オーバー	ひょう量(３５kg)以下で使用してください
「－－－－－」と表示する	マイナスオーバー	電源コードを抜いて、再度差し込み、電源を入れなおしてください。正常に戻らない時は販売店へご相談してください。
「－ＥＥＥＥ」と表示する	パワーオンゼロ点マイナスオーバー	
「ＣＣＣＣＣ」と表示する	パワーオンゼロ点プラスオーバー	
「－－－－Ｅ」と表示する	ＡＤ異常	
指示計が表示しない 指示計の表示がおかしい	指示計が故障している	販売店へご相談してください

製造販売元

株式会社 岡山農栄社

ホームページ　http://noeisha.co.jp

本社	〒703-8204 岡山市中区雄町394-3	TEL (086) 279-6100
本社営業所	〒703-8204 岡山市中区雄町394-3	TEL (086) 279-6100
北海道営業所	〒078-8275 旭川市工業団地5条3-3-1	TEL (0166) 36-5115
東北営業所	〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町4-2-44	TEL (022) 232-5609
関東営業所	〒372-0023 群馬県伊勢崎市粕川町1616	TEL (0270) 21-8127
九州営業所	〒862-0911 熊本市東区健軍3-45-13	TEL (096) 368-7407

お客様メモ

購入日	年	月	日
購入店名			